仲間と楽しむ

ツナグ白山麓の会員は、年に数回白山麓を訪れ、白山の恵みを感じ、その大自然と戯れます♪同時に現地の方や会員間の親睦を深めるイベントを実施します。人と人とがツナがる白山麓で楽しみましょう！

白山ろくの魅力をPR

8日にワークショップ開催

関西学院大

今年で3年目を迎える関学院大学総合政策学部「白山麓実習プロジェクト」の一環として、学生が担い手となるワークショップが石川県白山市で9月8日に行われる。8日午前10時から、同市白峰の白山ろく民俗資料館で学生11人が企画した「始動・白峰探検隊！―ジオパークには宝物がいっぱい！」（ワークショップ）を実施。白山市内の小学校高学年の児童30人と保護者が参加する予定だ。グループ対抗クイズラリーに続き、市内の公共施設で展示される白山手取川ジオパークのポスターを作成する。

クロスクリエイティブコア（金沢市）の野島章長氏が指導に当たり、白山市観光推進部ジオパーク推進室、金沢経済（金沢市）が協力している。

7日は白山ろくミュージアムパーク（白山市）の指定管理者である産グリーンサービスの協力により、午後3時半から同パーク内で「これからの白山麓」と銘打った座談会を開催。学生と同

システム開発

奥村組

同システムは、いずれもETCが提供する移動情報を活用し、交通状況に応じた運行管理を行うことで、渋滞を緩和できる。これらの情報を一元化し、廃棄物処理の進捗状況等を専用ポータルサイトでタイムリーかつビジュアルに確認できるため、管理業務の省力化や発注者との情報共有が実現した。

街歩きのクイズラリーの途中で地元の住民に話を聞く子どもたち＝白山市白峰で

白山麓の魅力を再発見する産・官・学連携イベント「始動・白峰探検隊」がオパークには宝物がいっぱい」が八日、白山市白峰地区一帯であった。市内の親子連れの二十人が、街歩きのクイズラリーを通じて地域の歴史や文化に触れた。（谷知佳）

親子ら白峰"宝探し"

古民家や寺院クイズラリー

関学大生企画「地元の魅力感じて」

二〇一〇年から毎年、白山麓でフィールドワークに取り組む関西学院大（兵庫県）総合政策学部の学生たちが企画した。昨年九月に市全域が日本ジオパークに認定されたPRの一環として、市や近隣の企業も協力した。

親子らは五組に分かれて地区内の白山ろく民俗資料館を出発。古民家や寺院を見学しつつ「特産物のキノコはなんでしょう」「屋根に掛けられたほしこは何のために使われるでしょう」といったクイズの答えを考えた。

地元の人に教えを請う場面も。十歳が並んでいる一角では、ヤマトシエさんやもろこ「火災から建物や貴重品を守るために建てられた」などと教わった。

毎年この地区で催されている「雪なるまつり」にちなんだ造形物も多く見られ、初めて訪れた同市東明小学校五年の谷口未璃唯さん（二）は「雪だるまの形をしたお饅がおいしかった」と驚いていた。

いずれも関学院大四年の大浦冴子さん

市民団体 ツナグ白山麓 とは…？

皆さんの参加をお待ちしています!!

地域ボランティア

ツナグ白山麓の会員は、現地で必要とされるボランティア活動に参加します。毎年、大雪が降る地域。高齢化も進んでおり除雪は大きな課題です。恵みと試練、両方を知ることで、私たちは自然ともツナがることが出来るのです。

ツナグ白山麓の会員は、学生の地域貢献活動を応援します。関西学院大学の『白山麓実習プロジェクト』の指導をはじめ、若い学生のパワーを白山麓へ導き、長期的な視点から地域の活性化に取り組みます。希望を未来にツナげる‥それが私達です！

学生の地域貢献活動を応援